

市場のしおり 2016



金沢市中央卸売市場

〒920-0024 金沢市西念4丁目7番1号
TEL (076) 220-2711 FAX (076) 222-2903
<http://www.kanazawa-market.or.jp>
E-mail ichiba@city.kanazawa.lg.jp



市場開設50周年記念事業
スローガン及びシンボルデザイン

はじめに

金沢市中央卸売市場は、昭和41年(1966年)7月18日に北陸で最初の中央卸売市場として開場し、開設区域はもとより、県内他地域や他県への生鮮食料品の安定供給を行っています。

食の安全・安心への配慮、「より新鮮・より豊富・より安定した価格」を心がけ、水産物では、近海漁港からの多魚種に恵まれた地の利を活かし、せり開始は全国的にも早く(午前3時30分)行い、その日に水揚げされた魚のせり(2番せり、午前8時30分)も行っています。青果では、加賀野菜や金沢そだちを含め、出荷者から継続的で安定した入荷量の確保に努めています。

また、経営戦略(平成24年3月)を策定し、北陸の中核市場としての役割や販売・集荷機能の強化に取り組むとともに、昨年度新たに中長期経営戦略を策定し、効率的な市場運営と経営基盤の強化を進めています。

本市場は平成28年(2016年)7月で開設50年となりました。今後も新鮮で安全・安心な生鮮食料品の供給等の役割を担い、本市場のさらなる活性化を図っていきます。



青果部せり



水産物部せり

中央卸売市場の役割

毎日の食生活に欠かせない魚、野菜、果物などの生鮮食料品やその加工品は、金沢市や石川県内はもとより、全国各地・世界各地から集荷されます。

生鮮食料品は、鮮度が低下しやすく長期間の貯蔵が困難で、また、天候や生産状況によって価格が大きく変動する傾向があります。

そこで、金沢市が中央卸売市場を設置し、管理・運営を行い、次のような役割を果たしています。

- 1 大量の生鮮食料品の能率的・衛生的な集荷と分荷
- 2 公正な取引による適正で安定した価格の形成
- 3 明確な信用決済
- 4 消費者への新鮮で多種・多様な生鮮食料品の供給
- 5 出荷者からの継続的で安定した入荷量の確保

シンボルマーク



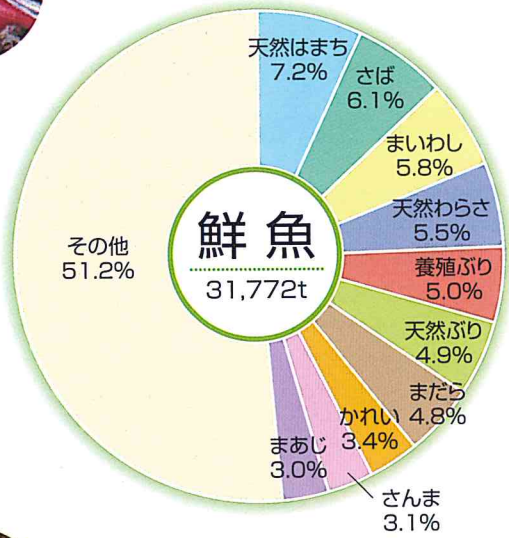
せり人たちが手を高く揚げて合図する「手振り」をモチーフに、3本の指の形をシンボライズしています。指はそれぞれ、食べ物を育む「海」(青色)、「大地」(緑色)、「太陽」(オレンジ色)を表現。また、「魚」「野菜」「果物」の象徴にもなっており、手のひらと残りの指(濃い青色)は、3つの恵みを受ける「食」をイメージしています。

品目別割合

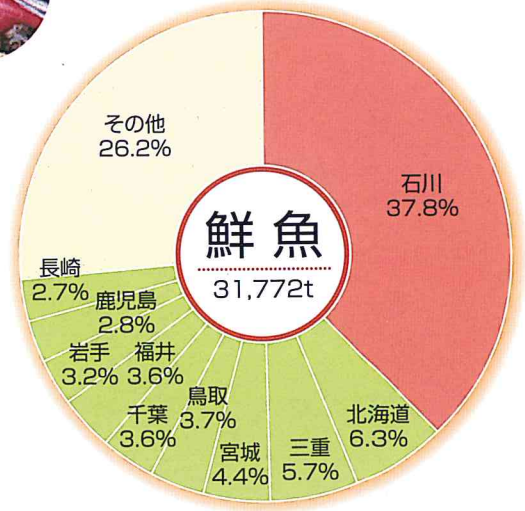
産地別割合



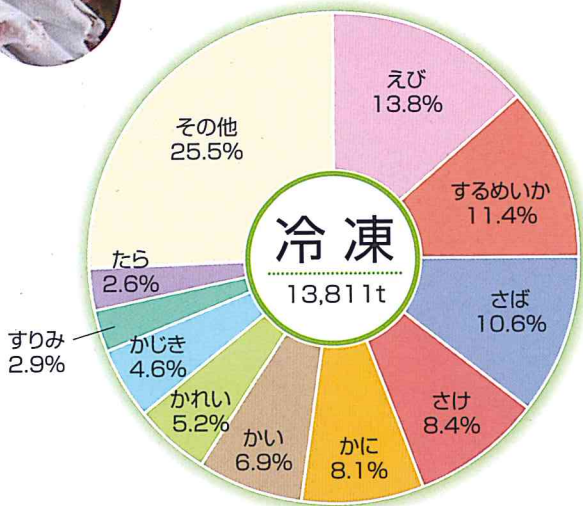
鮮魚



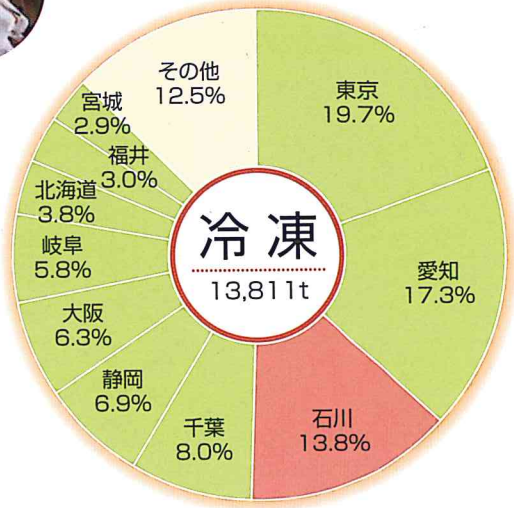
鮮魚



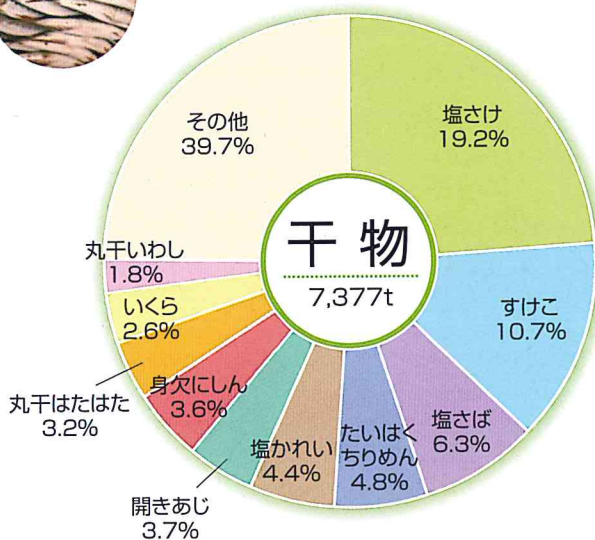
冷凍



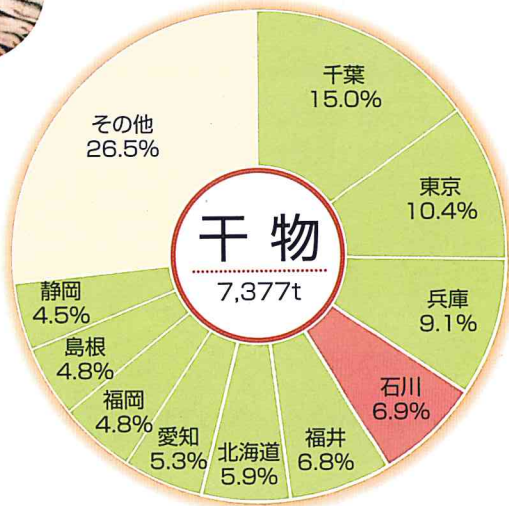
冷凍



干物



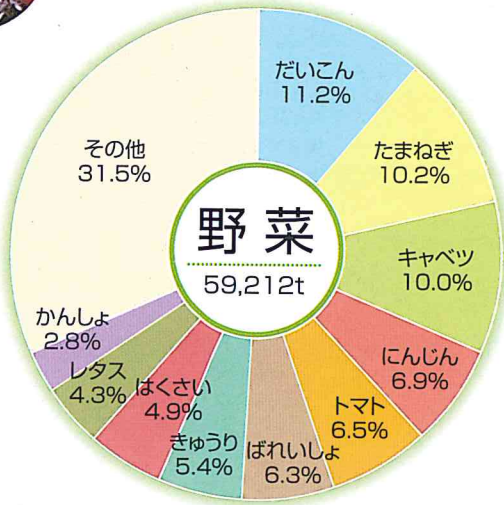
干物



品目別割合



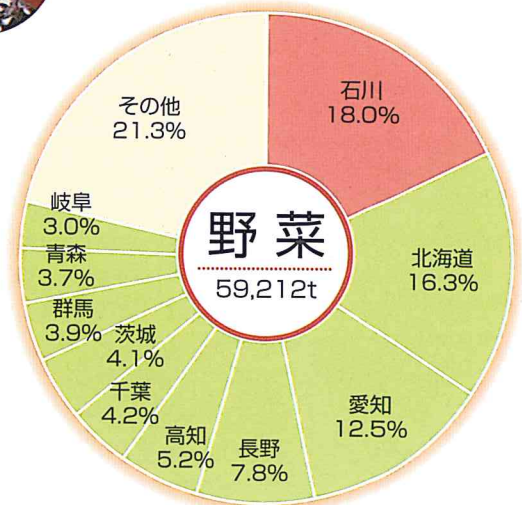
野菜



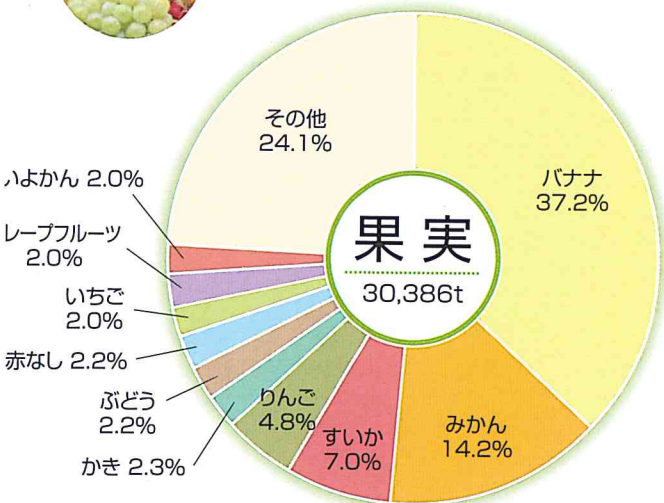
産地別割合



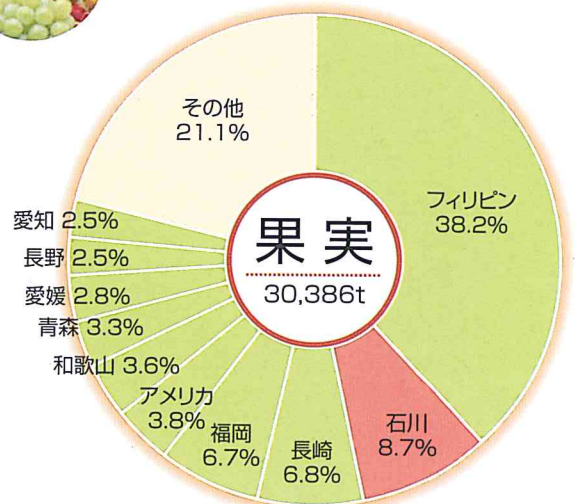
野菜



果実



果実



ブランド認定品目

加賀野菜

さつまいも、加賀れんこん、たけのこ、加賀太きゅうり、金時草、加賀つるまめ、ヘタ紫なす、源助だいこん、せり、打木赤皮甘栗かぼちゃ、金沢一本太ねぎ、二塚からしな、赤ずいき、くわい、金沢春菊の15品目

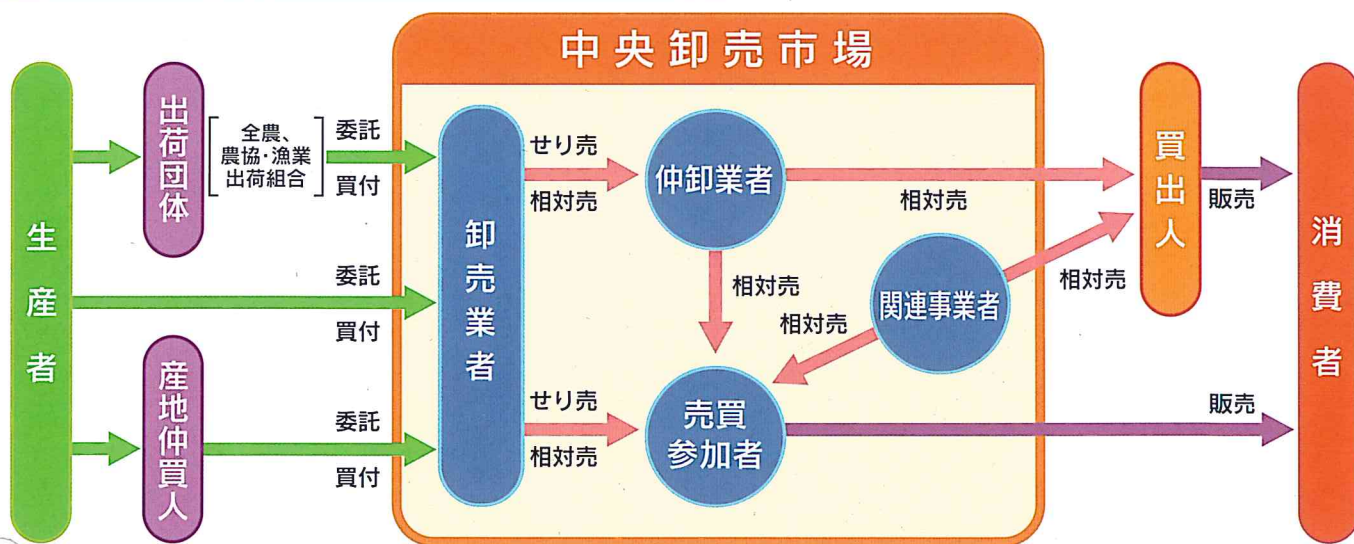
金沢そだち

だいこん、すいか(小玉すいか含む)、なし、トマト、きゅうり

※小玉すいか、トマト、きゅうりは平成28年1月に追加

市場流通のしくみ

生鮮食料品のながれ



開設者 金沢市長

市場の建物の建設や設備の管理を行い、また、卸売業者や仲卸業者、売買参加者が正しく取引をするよう指導・監督をします。

卸売業者 青果部1社・水産物部2社

全国各地の出荷者から生鮮食料品等の販売委託や買い付けを行い、これをせり売りや入札、相對売により仲卸業者や売買参加者に販売します。

仲卸業者 青果部17社・水産物部19社

卸売業者からせり売りや入札、相對売により買い受けた生鮮食料品等を市場の店舗で細かい単位に分けるなどして買出人や売買参加者に販売します。

売買参加者 青果部194人・水産物部148人

卸売業者のせり売りや入札、相對売に参加できる資格をもつ小売商や加工業者、大口需要者で、卸売業者などから買い受けて消費者に販売します。

関連事業者 48店舗

市場を利用する人々(買出人など)の利便を図るために市場内で業務(飲食店、食料品店、金融機関など)を営んでいます。

買出人

仲卸業者から生鮮食料品等を買って消費者に販売する小売商や加工業者、大口需要者です。

※数値は平成28年4月1日現在

さまざまな取り組み

金沢中央市場食育会館 スタジオDO

青果物をはじめとする生鮮食料品の消費拡大や地産地消の推進等を目指し青果卸売協同組合が建設。各種料理講習会や産地と消費者を結ぶマッチング交流会などが開催されています。



金沢市中央市場通り商店会

市場前通りの関連事業者と市場周辺の事業者が中心となり、市場前ならではの特色を活かした商店街活動を行っています。

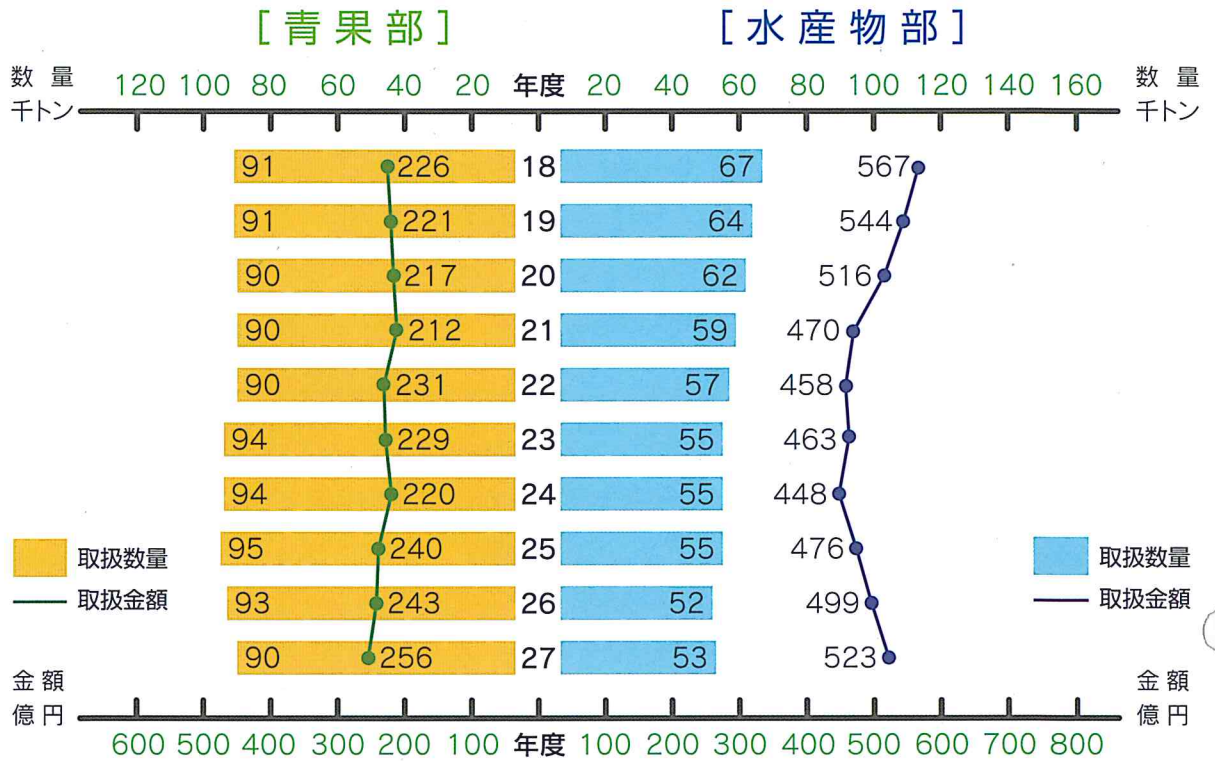


食品検査・相談室

食品の安全・安心のため、金沢市保健所が食品の検査や、食品事業者への相談業務を行っています。



取扱高の推移



【1日平均取扱高】(平成27年度)

(単位:数量 トン、金額 百万円)

部	種類	数量 (トン)	金額 (百万円)
青果部	野菜	221	62
	果物	113	33
水産物部	鮮魚	118	107
	冷凍魚	51	55
	塩干魚・加工品	28	33

施設概要

場内敷地面積 86,116㎡

【主要施設規模】

- 卸売場 16,043㎡
 本館卸売場 7,688㎡
 第2卸売場 4,848㎡
 青果第3卸売場 2,757㎡
 活魚卸売場 750㎡
- 仲卸売場 10,230㎡
- 買荷保管所 1,753㎡
- 冷蔵庫 1,800㎡
- 青果専用低温貯蔵庫 860㎡
- 青果加工食品倉庫 252㎡
- 関連事業者店舗 5,247㎡
- 管理事務所 695㎡
- 食品検査相談室 30㎡
- 立体駐車場 10,732㎡
- 平地駐車場 35,472㎡
- クリーンセンター 1,041㎡
- 青果配送センター 515㎡

施設の配置図

